

台風委員会 2019 年の活動

■第 8 回台風委員会・水文部会会議(韓国ソウル)

第 8 回台風委員会・水文部会は、10 月 15 日～18 日、韓国ソウルにおいて開催された。議長は土木研究所 ICHARM (水災害・リスクマネジメント国際センター)の池田上席研究員で、今年のテーマは「水文データ品質管理とレーダー降雨データを用いた洪水予測における知識の共有」。

日本からの出席者は、ICHARM の池田上席研究員と富澤主任研究員、国土交通省河川計画課国際室の村瀬室長と石川係長。IDI(国際建設技術協会)スタッフも記録係として池田議長をサポートした。

参加国による AOP(年間活動計画)等についての発表や活発な質疑応答が行われ、メンバー国の緊密な協力体制が改めて明らかになった。

水文部会 2019 年度 AOP は次のとおり。

- 1) Flash Flood Risk Information for Local Resilience
- 2) Application of Hydrological Data Quality Control System in TC Members
- 3) Enhancement of Flood Forecasting Reliability with Radar Rainfall Data and Stochastic Technique
- 4) OSUFFIM phase-II: extension of Application of OSUFFIM
- 5) Impact Assessment of Climate Change on Water Resource Variability in TC Members
- 6) Hydro Risk Watch Project for Life-saving
- 7) Platform on Water Resilience and Disasters under the International Flood Initiatives (IFI)



Meeting at Han River Flood Control Office



Group Photo at KICT

■第 14 回台風委員会統合部会(グアム)

2019 年 11 月 4 日から 7 日の 4 日間米国グアム島において、13 の国・領域から 85 名の参加者のもと TC(台風委員会) 14th IWS(統合部会)(今回のテーマは「台風関連災害の減災のためのスマートサービス」)が開催された。

日本からは気象庁アジア地域防災センター永戸室長など 3 名、国土交通省河川計画課国際室石川係長、ICHARM 池田上席、アジア防災センター荒木田所員、IDI 徳永部長の合計 7 名が参加した。

初日には Lou Leon Guerrero グアム知事他によるオープニングにより会議が始まり、キーノートスピーチや技術報告がなされ、IDI 徳永部長も「Global Trend of Storm and Flood Disaster in the World and Japanese Technology」の発表を行った。

2 日目午後からは気象部会、水文部会、防災部会に分かれ議論を行い、水文部会では ICHARM 池田上席が議長として会議をリードし、10 代表による国情報告、7 つの AOP(行動計画)について活動が報告された。日本の国情報告では台風 15 号、19 号の被害報告を行い、日本の AOP 報告では AOP1: 命を救う洪水観測、AOP6: フラッシュフラッドリスク情報、AOP7: 国際フラッドイニシアティブについて説明、議論を行った。

特筆すべき点として、米国が初めて 2020 年から新たに太平洋高潮による浸水モデルに関する AOP を開始することが挙げられる。その他事項として、日本は来年 10 月熊本で開催される第 3 回 APWS に合わせ第 9 回水文部会を開催することを提案し、了承されたほか、WMO 及び TC 事務局が期待するトロピカル・サイクロンパネル(PTC:事務局オマーン、西・南・東南アジアの一部が加盟)と TC の連携について WGH としても関心が高いことを表明した。

全体会議では、最近の TC で課題となっている部会横断的活動について議論され、日本から永戸氏及び池田氏が日本の災害対応における気象庁・国交省連携について等紹介するとともに TC における IFI の増進を提案した。運営に関し、会議のみならずグアム知事邸での歓迎宴、NOAA 職員一同の手作りの懇親会など随所で丁寧で細やかな対応が印象的であった。



14th IWS Participants



IDI's Tokunaga giving presentation

Agenda

Day 1 4 Nov	morning	Opening, Photo Session, Keynote
	afternoon	Keynote
	evening	Welcome reception
Day 2 5 Nov	morning	Keynote
	afternoon	Parallel Session
	evening	WGH reception (only WGH members)
Day 3 6 Nov	morning	Parallel Session
	afternoon	Parallel Session
	evening	Cultural trip
Day 4 7 Nov	morning	Plenary session
	afternoon	AWG (Advisory Working Group) Meeting
	evening	Farewell Party



Hydrology Working Group members

■世界防災フォーラム 2019(仙台)におけるパネルディスカッション

11 月 11 日、世界防災フォーラム 2019 において、技術セッション「水のレジリエンスと災害に関するプラットフォームに対する気象・水文・防災からの貢献」が ICHARM 主催で行われた。IDI は計画段階から関わり、運営をサポートした。発表者らは、洪水や台風に対する具体的計画や対策を紹介し、日本やアジア諸国の現状を理解するとともに、より効果的な連携体制を構築推進するための議論を行った。



Speakers of the session



Panel Discussion